

令和4年 救急統計

とかち広域消防事務組合

凡 例

- 1 本書は、令和4年中に発生した救急事故全般について、救急事故等報告要領に基づいて算出したものを統計資料としてまとめたものです。
- 2 数字の単位未満は四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
- 3 表中で使用した符号は下記のとおりです。
 - 「-」・・・該当数字又は集計値のないもの
 - 「※」・・・注釈
 - 「▲」・・・マイナス表示

目 次

1 救急出動件数及び搬送人員	1 ページ
2 事故種別ごとの救急出動件数及び搬送人員	2～3 ページ
3 年齢区分別の搬送人員	4 ページ
4 傷病程度別の搬送人員	5 ページ
5 救急出動における現場到着所要時間及び病院収容所要時間	6 ページ
6 熱中症による搬送人員	7 ページ
別表 十勝管内消防署別救急出動件数と搬送人員	8 ページ

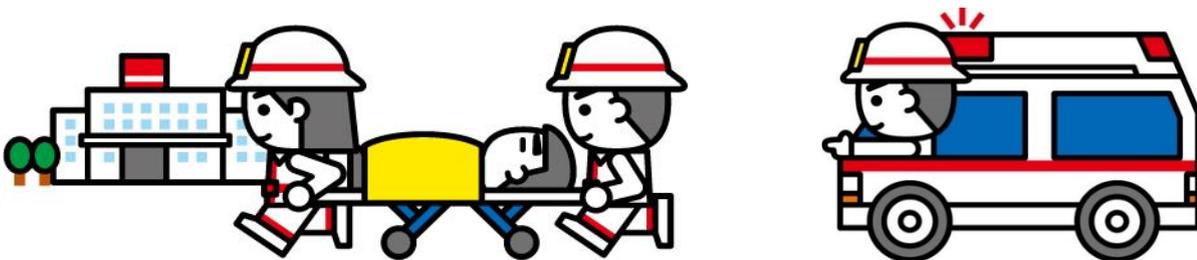
1 救急出動件数及び搬送人員

令和4年中の救急出動件数は、17,084件（対前年比2,578件増、17.8%増）、搬送人員は14,705人（対前年比1,794人増、13.9%増）で救急出動件数、搬送人員ともに前年を大きく上回りました。（図1）

救急車は30.8分に1回の割合で出動し、十勝管内の住民22.6人に1人が搬送されたこととなります。

※ 令和2年国勢調査人口（確定値）による管轄人口を基準に算出した値です。

図1 救急出動件数及び搬送人員の推移



2 事故種別の救急出動件数及び搬送人員

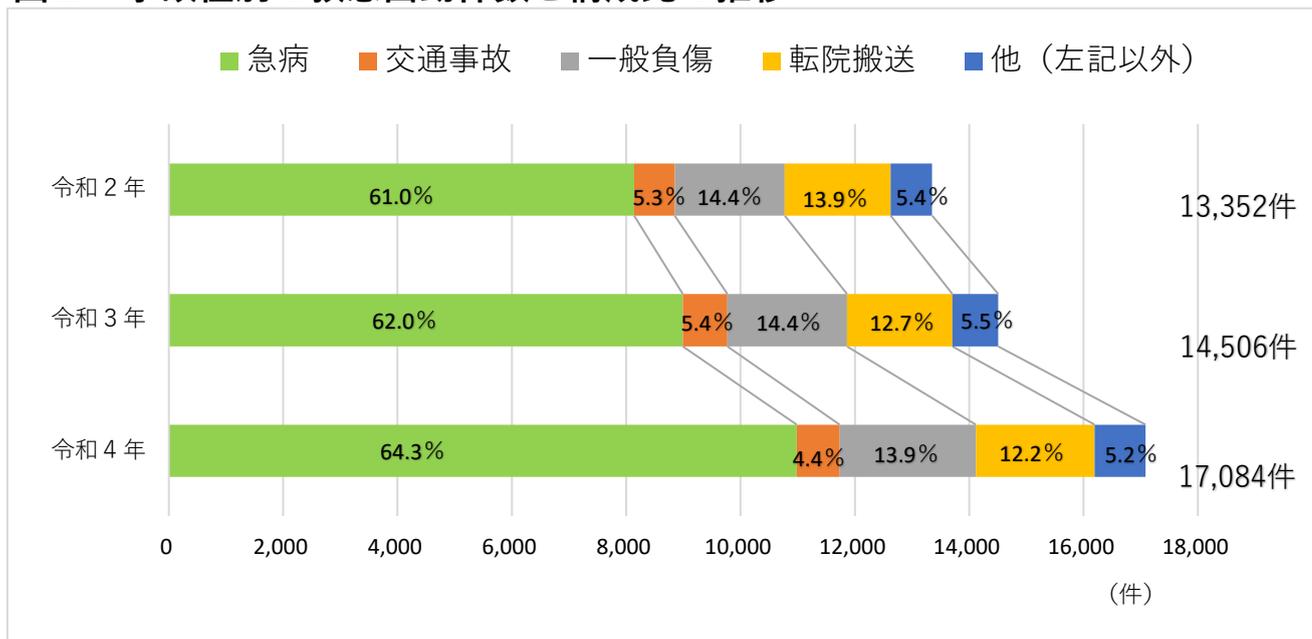
令和4年中の救急出動件数内訳をみると、急病が10,983件（64.3%）、一般負傷が2,382件（13.9%）、交通事故751件（4.4%）などとなっています。（表1参照）

救急出動件数の構成比推移をみると、急病で増加しています。（図2参照）

表1 事故種別の救急出動件数対前年比

事故種別	令和4年中		令和3年中		対前年比		
	出動件数	構成比 (%)	出動件数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
火災	37	0.2	60	0.4	▲ 23	▲ 38.3	
自然災害	0	0.0	2	0.0	▲ 2	▲ 100.0	
水難	7	0.0	7	0.0	0	0.0	
交通事故	751	4.4	781	5.4	▲ 30	▲ 3.8	
労働災害	226	1.3	196	1.4	30	15.3	
運動競技	100	0.6	90	0.6	10	11.1	
一般負傷	2,382	13.9	2,094	14.4	288	13.8	
加害	29	0.2	30	0.2	▲ 1	▲ 3.3	
自損行為	188	1.1	161	1.1	27	16.8	
急病	10,983	64.3	8,988	62.0	1,995	22.2	
その他	転院搬送	2,078	12.2	1,842	12.7	236	12.8
	医師搬送	2	0.0	1	0.0	1	100.0
	資機材等搬送	1	0.0	0	0.0	1	-
	その他	300	1.8	254	1.8	46	18.1
合計	17,084	100.0	14,506	100.0	2,578	17.8	

図2 事故種別の救急出動件数と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

令和4年中の搬送人員の内訳をみると、急病が9,467人（64.4%）、一般負傷が2,109人（14.3%）、転院搬送が2,073人（14.1%）などとなっています。（表2参照）

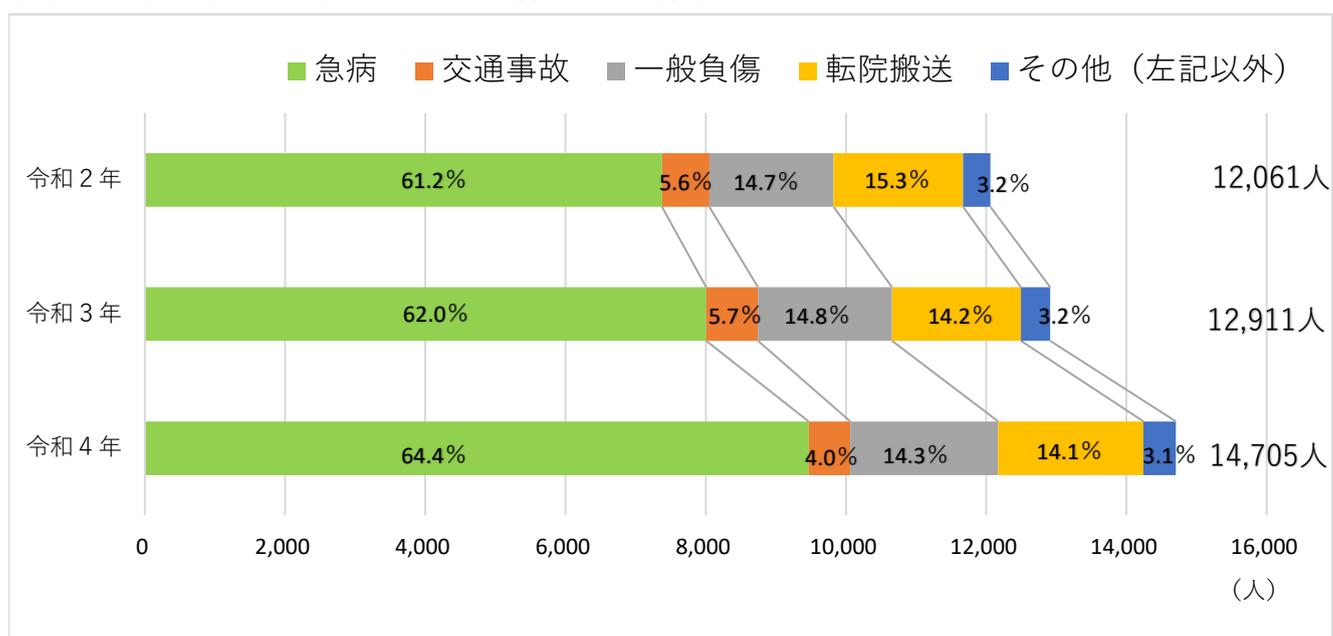
令和3年中と比較し、全体で1,794人増加しており、搬送人員の構成比推移をみると、救急出動件数と同様、急病で増加しています。

（図3参照）

表2 事故種別の搬送人員対前年比

事故種別	令和4年中		令和3年中		対前年比		
	搬送人員	構成比 (%)	搬送人員	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
火災	11	0.1	14	0.1	▲ 3	▲ 21.4	
自然災害	0	0.0	0	0.0	0	-	
水難	3	0.0	2	0.0	1	50.0	
交通事故	595	4.0	740	5.7	▲ 145	▲ 19.6	
労働災害	221	1.5	188	1.5	33	17.6	
運動競技	92	0.6	86	0.7	6	7.0	
一般負傷	2,109	14.3	1,912	14.8	197	10.3	
加害	19	0.1	22	0.2	▲ 3	▲ 13.6	
自損行為	115	0.8	101	0.8	14	13.9	
急病	9,467	64.4	8,006	62.0	1,461	18.2	
その他	転院搬送	2,073	14.1	1,835	14.2	238	13.0
	医師搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	資機材等搬送	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	0	0.0	5	0.0	▲ 5	▲ 100.0
合計	14,705	100.0	12,911	100.0	1,794	13.9	

図3 事故種別の搬送人員と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 年齢区分別の搬送人員

令和4年中の搬送人員の内訳を年齢区分別にみると、高齢者が9,768人（66.4%）、成人が4,026人（27.4%）、少年が392人（2.7%）、乳幼児が510人（3.5%）、新生児9人（0.1%）となっています。（表3参照）

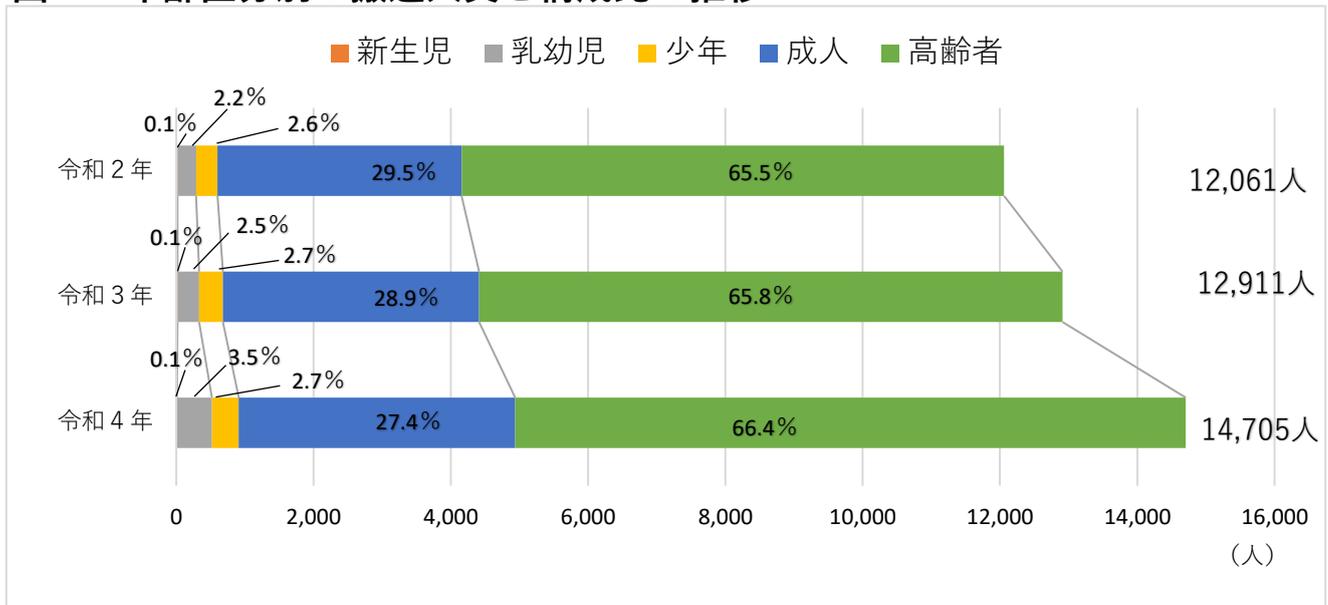
年齢区分別の搬送人員の構成比推移をみると、高齢者と乳幼児で増加しています。

（図4参照）

表3 年齢区分別の搬送人員数対前年比

	令和4年中		令和3年中		対前年比	
	搬送人員	構成比（%）	搬送人員	構成比（%）	増減数	増減率（%）
新生児	9	0.1	18	0.1	▲9	▲50.0
乳幼児	510	3.5	317	2.5	193	60.9
少年	392	2.7	345	2.7	47	13.6
成人	4,026	27.4	3,734	28.9	292	7.8
高齢者	9,768	66.4	8,497	65.8	1,271	15.0
合計	14,705	100.0	12,911	100.0	1,794	13.9

図4 年齢区分別の搬送人員と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 年齢区分の定義

- 新生児 : 生後28日未満
- 乳幼児 : 生後28日以上満7歳未満
- 少年 : 満7歳以上満18歳未満
- 成人 : 満18歳以上満65歳未満
- 高齢者 : 満65歳以上

4 傷病程度別の搬送人員

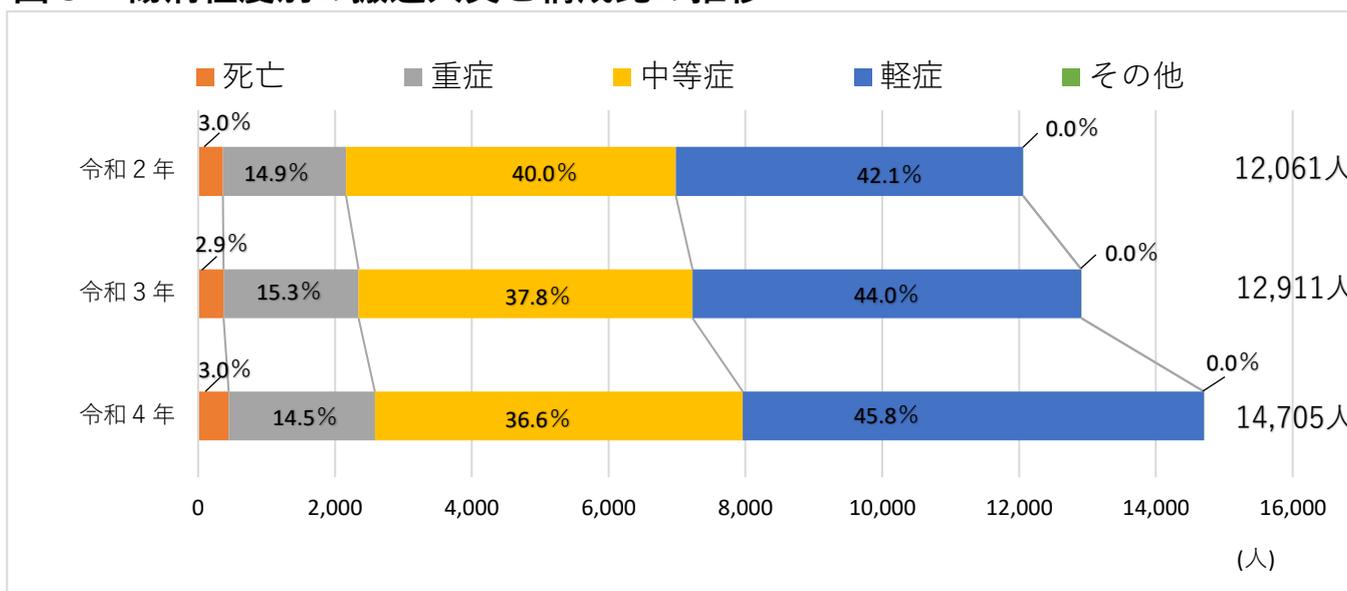
令和4年中の搬送人員の内訳を傷病程度別にみると、軽症が6,740人（45.8%）、中等症が5,379人（36.6%）、重症が2,137人（14.5%）となっています。（表4参照）

傷病程度別の搬送人員構成比推移をみると、主に軽症の搬送割合が増加しています。（図5参照）

表4 傷病程度別の搬送人員数対前年比

	令和4年		令和3年		令和2年	
	搬送人員	構成比 (%)	搬送人員	構成比 (%)	搬送人員	構成比 (%)
死亡	446	3.0	369	2.9	361	3.0
重症	2,137	14.5	1,974	15.3	1,800	14.9
中等症	5,379	36.6	4,885	37.8	4,821	40.0
軽症	6,740	45.8	5,679	44.0	5,075	42.1
その他	3	0.0	4	0.0	4	0.0
合計	14,705	100.0	12,911	100.0	12,061	100.0

図5 傷病程度別の搬送人員と構成比の推移



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 傷病程度の定義

- 死亡：初診時において死亡が確認された方
- 重症（長期入院）：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とする方
- 中等症（入院診療）：傷病程度が重症または軽症以外の方
- 軽症（外来診療）：傷病程度が入院加療を必要としない方
- その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、もしくはその他の場所に搬送した方

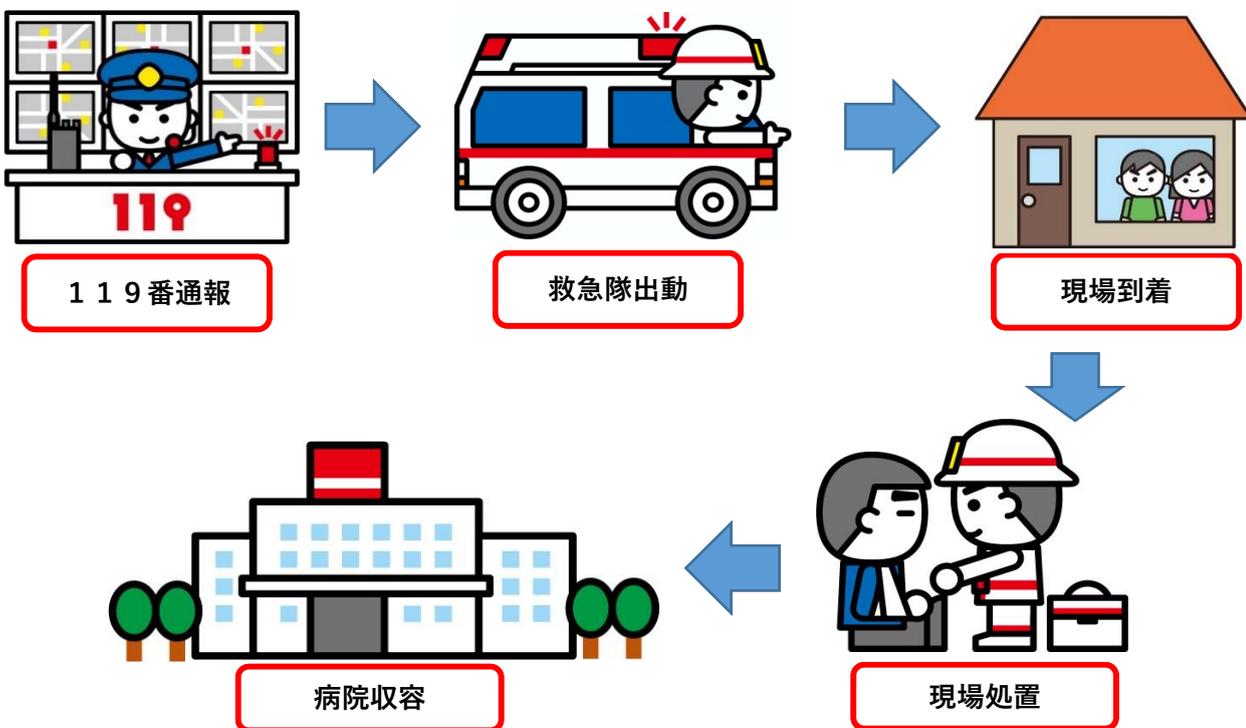
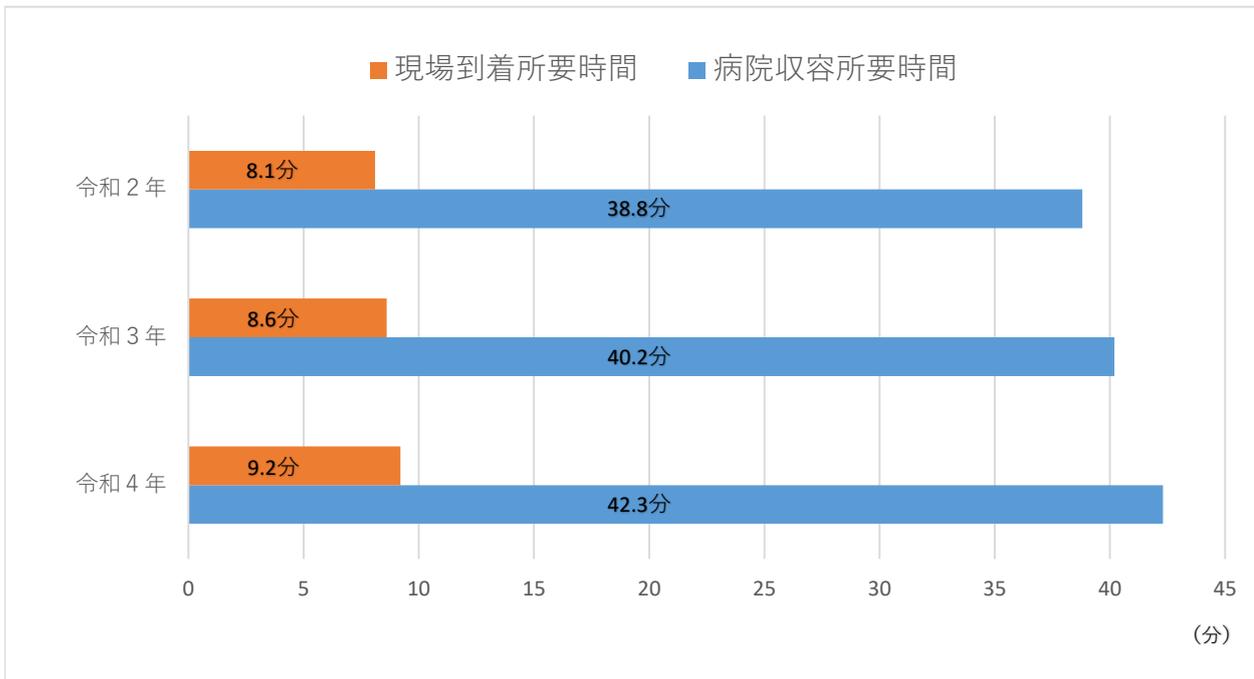
※ 傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれています。

5 救急出動における現場到着所要時間及び病院収容所要時間

令和4年中の現場到着所要時間（119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間）は、平均で9.2分となっています。（図6）

傷病程度別の搬送人員構成比推移をみると、主に軽症の搬送割合が増加しています。（図5）平均で42.3分となっています。（図6）

図6 現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移



6 熱中症による搬送人員

令和4年5月～9月の熱中症による搬送人員のうち、年齢別にみると、高齢者が53人（58.9%）、成人が23人（25.6%）、少年が11人（12.2%）、乳幼児が3人（3.3%）となっています。

傷病程度別にみると、死亡が1人（1.1%）、重症が1人（1.1%）、中等症が20人（22.2%）、軽症が68人（75.6%）となっています。

男女別にみると、男性52人（57.8%）、女性38人（42.2%）となっています。

表5 熱中症による搬送状況

	令和4年中の搬送人員								令和3年中の搬送人員							
	5月	6月	7月	8月	9月	合計	構成比 (%)	5月	6月	7月	8月	9月	合計	構成比 (%)		
年齢区分	新生児	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	乳幼児	0	0	1	2	0	3.3	0	0	1	0	0	1	0.6		
	少年	0	2	7	2	0	12.2	0	2	5	0	0	7	4.2		
	成人	1	3	15	3	1	25.6	1	9	24	13	0	47	28.5		
	高齢者	1	9	27	12	4	58.9	1	14	75	20	0	110	66.7		
傷病程度	死亡	0	1	0	0	0	1.1	0	0	1	0	0	1	0.6		
	重症	0	1	0	0	0	1.1	0	0	6	2	0	8	4.8		
	中等症	1	7	6	3	3	22.2	1	3	32	7	0	43	26.1		
	軽症	1	5	44	16	2	75.6	1	22	66	24	0	113	68.5		
	その他	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0		
性別	男性	2	7	30	10	3	57.8	2	15	58	20	0	95	57.6		
	女性	0	7	20	9	2	42.2	0	10	47	13	0	70	42.4		
搬送人員	2	14	50	19	5	90	100.0	2	25	105	33	0	165	100.0		

※ 端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※ 年齢区分及び傷病程度は表3及び表4の注釈参照



別表 十勝管内消防署別救急出動件数と搬送人員

	救急出動件数				搬送人員			
	令和4年	令和3年	増減	増減率	令和4年	令和3年	増減	増減率
帯広消防署	9,010	7,388	1,622	22.0	7,290	6,273	1,017	16.2
音更消防署	1,791	1,617	174	10.8	1,608	1,466	142	9.7
士幌消防署	272	284	▲ 12	▲ 4.2	260	264	▲ 4	▲ 1.5
上士幌消防署	280	251	29	11.6	260	243	17	7.0
鹿追消防署	238	170	68	40.0	224	166	58	34.9
新得消防署	226	239	▲ 13	▲ 5.4	213	232	▲ 19	▲ 8.2
清水消防署	370	321	49	15.3	352	302	50	16.6
芽室消防署	839	778	61	7.8	754	697	57	8.2
中札内消防署	185	175	10	5.7	170	173	▲ 3	▲ 1.7
更別消防署	141	138	3	2.2	134	134	0	0.0
大樹消防署	267	233	34	14.6	248	217	31	14.3
広尾消防署	355	302	53	17.5	331	284	47	16.5
幕別消防署	1,438	1,079	359	33.3	1,312	1,014	298	29.4
池田消防署	401	355	46	13.0	384	334	50	15.0
豊頃消防署	151	167	▲ 16	▲ 9.6	134	153	▲ 19	▲ 12.4
本別消防署	424	334	90	26.9	403	322	81	25.2
足寄消防署	404	382	22	5.8	377	365	12	3.3
陸別消防署	122	122	0	0.0	108	118	▲ 10	▲ 8.5
浦幌消防署	170	171	▲ 1	▲ 0.6	143	154	▲ 11	▲ 7.1
十勝総数	17,084	14,506	2,578	17.8	14,705	12,911	1,794	13.9

作成担当

とかち広域消防局救急企画課

令和6年1月作成